三菱電機株式会社 省エネデータ収集サーバ

EcoServer II デマンド監視機能付品 (形名: MES3-255B-DM/MES3-255C-DM)

サンプル画面説明書

サンプルのご利用について

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

- (1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。
- (2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。
- (3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。 但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合はその限り ではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明 書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。
- (4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害 も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。
- (5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。
- (6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。
- (7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して充分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

目次

1.	概要	5
2.	システム構成	5
	GOT について	
	3.1 インストールが必要な OS	
4.	EcoServer皿について	6
	4.1 本体設定-IP アドレス設定(CH2)	6
5.	注意事項	7
	5.1 デマンド時限を 30 分以外(15 分または 60 分)に設定する場合 5.2 警報種別を変更した場合 5.3 デマンドグラフの時限切り替わり処理 5.4 アラーム履歴の発生日時について	7 7
6.	画面仕様	8
	6.1 表示言語 6.2 画面遷移 6.3 画面説明 6.3.1 メインメニュー(B-30001) 6.3.2 デマンドゲージ(B-30002) 6.3.3 デマンドグラフ(B-30003) 6.3.4 デマンドグラフ(B-30004) 6.3.5 デマンドグラフ(B-30005) 6.3.6 アラーム履歴(B-30006) 6.3.7 アラーム確認(W-30001) 6.3.8 言語設定(W-30002)	8 10 10 11 12 13 14 15 16
	6.3.9 凡例表示(W-30003) 6.4 使用デバイス一覧 6.5 コメント一覧 6.6 拡張ユーザアラーム監視一覧 6.7 スクリプト一覧	18 19 21 22

改訂履歴

サンプル画面説明書

改訂日付	管理番号*	改訂内容		
2014/7/8	e-G0T-002	初版		
2018/12/25	e-G0T-002-2	「7. GOT2000 シリーズへのプロジェクト変換手順」を追加。		
2020/12/18	e-G0T-002-3	「7. GOT2000 シリーズへのプロジェクト変換手順」へ使用す		
		る GOT のシリーズに関して注記を追加。		
2021/5/24	e-G0T-002-4	「6.3.6 アラーム履歴」誤記修正		

^{*} 管理番号は、右下に記載しています。

プロジェクトデータ

->->17					
改訂日付	プロジェクトデータ	GT Designer3*	改訂内容		
2014/7/8	e-GOT-002. GTW	1. 1128	初版		
_					

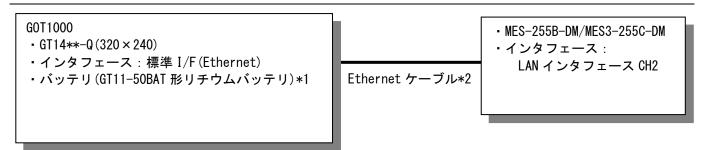
^{*} プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

1. 概要

GOT1000 と省エネデータ収集サーバ EcoServerⅢデマンド監視機能付品(形名: MES3-255B-DM/MES3-255C-DM)を Ethernet で接続し、現在デマンド、予測デマンドのモニタなどを行うサンプル画面の説明書です。

以降、「EcoServerⅢ」の記載は、「省エネデータ収集サーバ EcoServerⅢデマンド監視機能付品(形名: MES3-255B-DM/MES3-255C-DM)」のことを表します。また、「EcoServerⅢ設定ソフトウェア」の記載は、「形名: MES3-255B-DM 設定ソフトウェア」または「形名: MES3-255C-DM 設定ソフトウェア」のことを表します。

2. システム構成



- *1:バッテリは拡張ユーザアラーム機能で使用しています。(バッテリは、GOT 本体に標準装備しています。)
- *2:ケーブルの詳細については、「GOT1000 シリーズ接続マニュアル(マイコン・MODBUS・周辺機器接続編)」を参照してください。

3. GOT について

3.1 インストールが必要な OS

0S の種類	OS の名称		
	基本 0S		
	基本 0S システム画面情報		
基本機能	基本 0S システム画面データ		
	標準フォント	日本語(欧州対応)	
	TrueType 数字フォント	7 セグ	
通信ドライバ	Ethernet 接続 Ethernet (マイコン)		
	フレローを甘木フィン・	ストロークフォントサポート機能	
拡張機能	ストローク基本フォント	ストローク基本フォント(日本)	
	デバイスデータ転送		
オプション機能	標準フォント(中国:簡体)		
オ ノ ノ ヨ ノ 饿 肥	オブジェクトスクリプト		

3.2 作画ソフトウェアの接続機器設定

項目	設定値	備考
メーカ	その他	
機種	マイコン接続	
I/F	標準 I/F(Ethernet):	
1/1	マルチ接続対応	
ドライバ	Ethernet(マイコン)	
GOT NET No.	1	
GOT PC No.	1	
GOT IPアドレス	192. 168. 3. 18	この設定値を EcoServerⅢ設定ソフトウェアにて GOT の IP アドレスとして登録してください
サブネットマスク	255. 255. 255. 0	
デフォルトゲートウェイ	0. 0. 0. 0	
Ethernet ダウンロード用	5014	
ポート No.	3014	
GOT 機器通信用	5021	この設定値を EcoServerⅢ設定ソフトウェアにて
ポート No.		GOT のポート番号として登録してください
立ち上がり時間(秒)	3	
送信ディレイ時間	0	
(×10ms)		
32 ビット格納順序	LH 順	
プロトコル	TCP/IP	
形式	8	
割込みデータ長	1	
特殊割込み出力	無	
生存確認	しない	
生存確認周期(秒)	20	

4. EcoServer皿について

4.1 本体設定-IP アドレス設定 (CH2)

項目	設定値	備考
IP アドレス	192. 168. 3. 1	
サブネットマスク	255. 255. 255. 0	
デフォルトゲートウェイ	設定なし	

4.2 シーケンサ・GOT 登録

項目	設定値	備考
端末名	任意の名称	
CPU、GOT シリーズ	GT27/GT16/GT15/GT14	
データ交信方式	Ethernet ダイレクト	
GOT IPアドレス	192. 168. 3. 18	作画ソフトウェアにて設定した値を登録してくだ さい
ポート番号	5021	作画ソフトウェアにて設定した値を登録してくだ さい

4.3 外部機器連携設定-データ出力設定(デマンド監視)

項目	設定値	備考
データ出力を行う	チェックあり	
出力完了通知遅延時間	0(秒)	
端末名	シーケンサ・GOT 登録で	
	登録した GOT の端末名	
先頭デバイス番号 D100		先頭デバイス番号を変更する場合は、作画ソフトウェアにてデバイスデータ転送(ID201)の転送元先頭デバイスも同じデバイス番号に変更してください

5. 注意事項

5.1 デマンド時限を30分以外(15分または60分)に設定する場合

このサンプル画面では、EcoServerⅢのデマンド時限の設定を 15 分、30 分、60 分とした場合の画面をそれぞれ用意しており、デフォルトでは 30 分の画面が表示されます。EcoServerⅢのデマンド時限を 15 分または 60 分に設定する場合は、作画ソフトウェアにてスクリプトシンボル: DMTimeLimit の定数を 15 または 60 に変更してください。

5.2 警報種別を変更した場合

このサンプル画面では、GOT 起動時に EcoServerⅢの警報種別(限界/固定)を判定して、警報時に表示するコメントを設定しています。このため、EcoServerⅢで警報種別を変更した場合は GOT をリセットしてください。

5.3 デマンドグラフの時限切り替わり処理

このサンプル画面では、デマンド時限終了時にデマンドグラフのデータをクリアしています。 以下の場合には、時限終了の判断ができずに、前回時限のデータが残ることがあります。

- ・通信エラー発生後、時限をまたいで復旧した場合
- ・時限をまたいで EcoServerⅢの時刻を変更した場合

5.4 アラーム履歴の発生日時について

アラーム履歴の発生日時は GOT の時計を基に表示しますが、各ベース画面上部の日時は、EcoServerⅢの時計を基に表示します。この 2 つの時計が一致するように、GOT 起動時から 1 時間周期で時計合わせをします。 (GOT の時計を EcoServerⅢの時計に合わせて変更します。)

以下の場合には、次に時計合わせが成功するまで、アラーム履歴の発生日時と各ベース画面上部の日時がずれた状態になります。

- ・通信エラー時に GOT が EcoServer Ⅲと時計合わせを行った場合
- ・GOTの時計を手動で変更した場合
- ・EcoServerⅢの時刻を変更した場合

6. 画面仕様

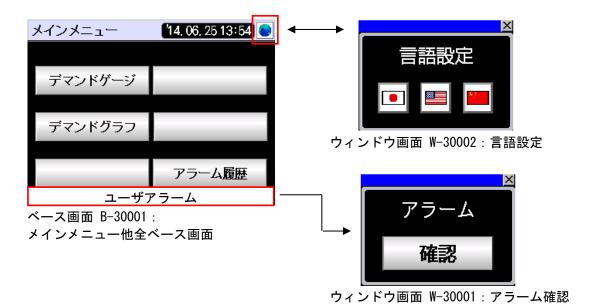
6.1 表示言語

画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の3言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No.254、255 の列 No.1~3に下記のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No.を格納すると列 No.に対応した言語を表示します。

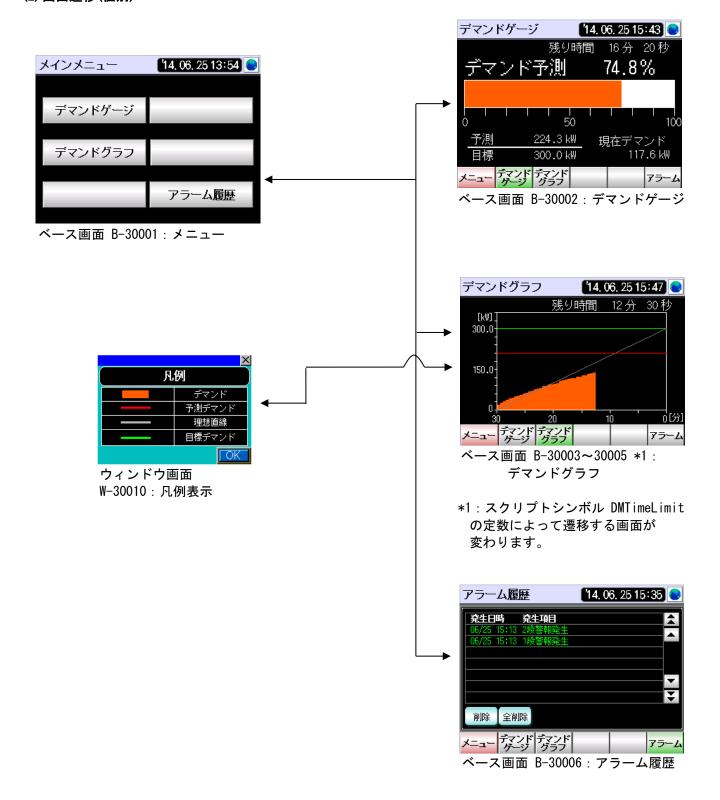
列 No.	言語
1	日本語
2	英語
3	中国語(簡体)

6.2 画面遷移

(1) 画面遷移(共通)



(2) 画面遷移(個別)



6.3 画面説明

6.3.1 メインメニュ<u>ー(B-30001)</u>



概要

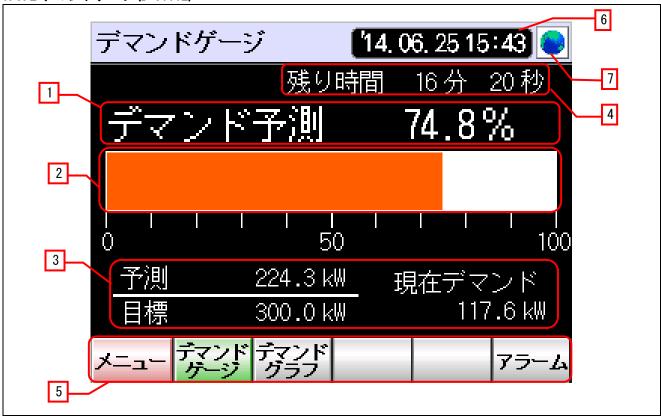
メインメニュー画面です。

詳細

- 1. デマンドゲージ画面に切り換えます。
- 2. デマンドグラフ画面に切り換えます。
- 3. アラーム履歴画面に切り換えます。
- 4. EcoServerⅢの日時を表示します。
- 5. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・ ユーザアラームが発生した場合、画面が点滅しブザーが鳴ります。また画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラーム確認ウィンドウが表示されます。



概要

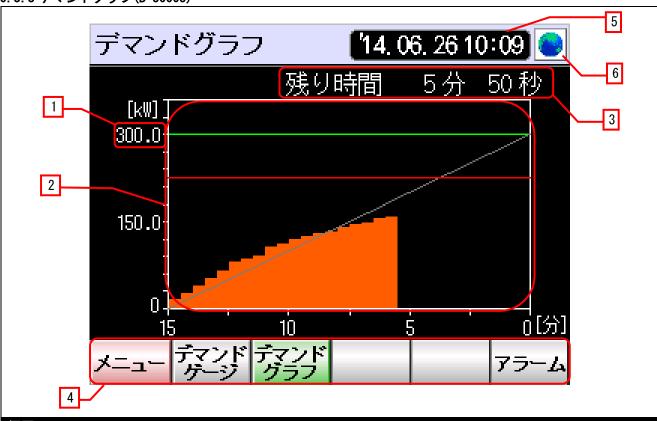
残り時間、予測デマンド、目標デマンド、現在デマンドをモニタします。

詳細

- 1. デマンド予測(予測デマンド/目標デマンド)をパーセントで表示します。
- 2. デマンド予測(予測デマンド/目標デマンド)をゲージで表示します。
- 3. 予測デマンド、目標デマンド、現在デマンドを表示します。
- 4. 残り時間を表示します。
- 5. 各画面に切り換えます。緑色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 6. EcoServerⅢの日時を表示します。
- 7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備者

- ・ 約 10 秒間隔で表示する値を自動更新します。
- ・ デマンド予測が 100%を超えた場合、ゲージが赤色に変化します。ゲージ表示は 100%を超えません。
- ・現在デマンドの小数点位置は EcoServer皿の設定値により異なります。詳細は EcoServer皿の取扱説明書 (設定編)を参照してください。
- ・ デマンド予測が 1000.0%以上の場合、数値が赤字になり下 4 桁のみの表示となります。 (例えば、デマンド予測が 1234.5%の場合、234.5%と表示されます。)
- ・ユーザアラームが発生した場合、画面が点滅しブザーが鳴ります。また画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラーム確認ウィンドウが表示されます。



概要

デマンドを棒グラフで、予測デマンドと理想直線を折れ線グラフ(赤色:予測デマンド、灰色:理想直線)で、 目標デマンドを緑色直線で表示します。また残り時間もモニタします。

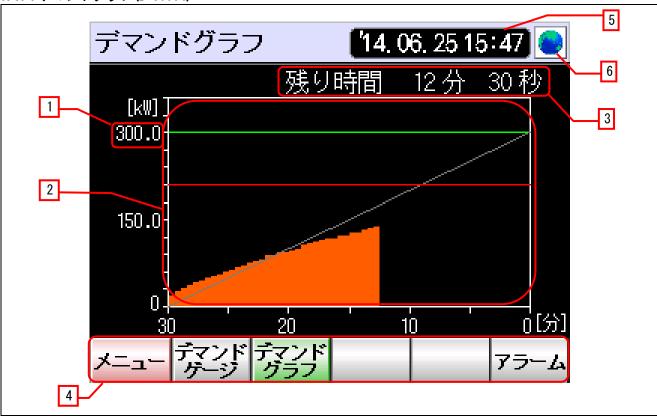
詳細

- 1. デマンド目標値を表示します。
- 2. デマンドを棒グラフ、予測デマンドと理想直線を折れ線グラフ、目標デマンドを直線で表示します。横軸のデータ数は 30 点です。グラフ上をタッチすることで、凡例表示ウィンドウを表示します。
- 3. 残り時間を表示します。
- 4. 各画面に切り換えます。緑色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 5. EcoServerⅢの日時を表示します。
- 6. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- · スクリプトシンボル DMTimeLimit の定数を 15 に設定した場合に表示される画面です。
- ・ 約10秒間隔で表示する値を自動更新します。
- ・ デマンドの表示は目標デマンドの 120%の値が上限となっています。
- ・ グラフの横軸に表示されている 30 点のデータは、下記の時間帯でのデマンド値となります。 残り時間:15分0秒~14分30秒、14分30秒~14分0秒、・・・・、1分0秒~0分30秒、0分30秒 ~0分00秒
- ・ デマンドの棒グラフは、時限終了時にクリアされます。
- ・ 通信エラー時や EcoServerⅢの時計変更時には、グラフが正常に表示されないことがあります。
- ・ ユーザアラームが発生した場合、画面が点滅しブザーが鳴ります。また画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラーム確認ウィンドウが表示されます。

6.3.4 デマンドグラフ(B-30004)



概要

デマンドを棒グラフで、予測デマンドと理想直線を折れ線グラフ(赤色:予測デマンド、灰色:理想直線)で、 目標デマンドを緑色直線で表示します。また残り時間もモニタします。

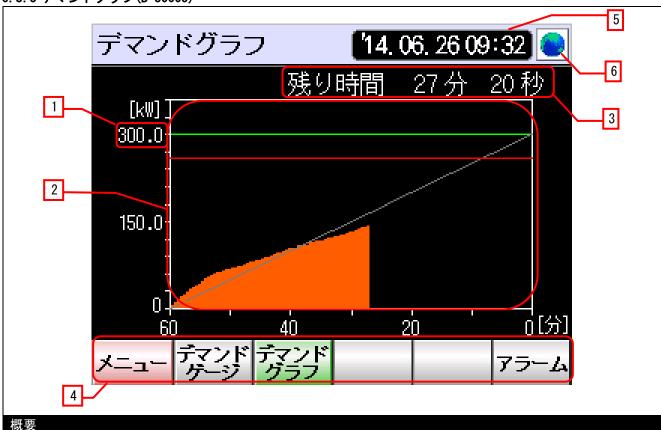
詳細

- 1. デマンド目標値を表示します。
- 2. デマンドを棒グラフ、予測デマンドと理想直線を折れ線グラフ、目標デマンドを直線で表示します。横軸のデータ数は60点です。グラフ上をタッチすることで、凡例表示ウィンドウを表示します。
- 3. 残り時間を表示します。
- 4. 各画面に切り換えます。緑色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 5. EcoServerⅢの日時を表示します。
- 6. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- · スクリプトシンボル DMTimeLimit の定数を 30 に設定した場合に表示される画面です。
- ・ 約10秒間隔で表示する値を自動更新します。
- ・ デマンドの表示は目標デマンドの 120%の値が上限となっています。
- ・ グラフの横軸に表示されている 60 点のデータは、下記の時間帯でのデマンド値となります。 残り時間:30分0秒~29分30秒、29分30秒~29分0秒、・・・、1分0秒~0分30秒、0分30秒 ~0分00秒
- ・ デマンドの棒グラフは、時限終了時にクリアされます。
- ・ 通信エラー時や EcoServerⅢの時計変更時には、グラフが正常に表示されないことがあります。
- ・ ユーザアラームが発生した場合、画面が点滅しブザーが鳴ります。また画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラーム確認ウィンドウが表示されます。

6.3.5 デマンドグラフ(B-30005)



デマンドを棒グラフで、予測デマンドと理想直線を折れ線グラフ(赤色:予測デマンド、灰色:理想直線)で、 目標デマンドを緑色直線で表示します。また残り時間もモニタします。

詳細

- 1. デマンド目標値を表示します。
- 2. デマンドを棒グラフ、予測デマンドと理想直線を折れ線グラフ、目標デマンドを直線で表示します。横軸のデータ数は 120 点です。グラフ上をタッチすることで、凡例表示ウィンドウを表示します。
- 残り時間を表示します。
- 各画面に切り換えます。緑色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 5. EcoServerⅢの日時を表示します。
- 6. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- · スクリプトシンボル DMTimeLimit の定数を 60 に設定した場合に表示される画面です。
- ・ 約 10 秒間隔で表示する値を自動更新します。
- ・ デマンドの表示は目標デマンドの 120%の値が上限となっています。
- ・ グラフの横軸に表示されている 120 点のデータは、下記の時間帯でのデマンド値となります。 残り時間:60分0秒~59分30秒、59分30秒~59分0秒、・・・・、1分0秒~0分30秒、0分30秒 ~0分00秒
- デマンドの棒グラフは、時限終了時にクリアされます。
- ・ 通信エラー時や EcoServerⅢの時計変更時には、グラフが正常に表示されないことがあります。
- ・ ユーザアラームが発生した場合、画面が点滅しブザーが鳴ります。また画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラーム確認ウィンドウが表示されます。

6.3.6 アラーム履歴(B-30006)



概要

EcoServerⅢの警報(1段警報、2段警報、限界/固定警報、システム異常)を表示します。

詳細

- 1. 拡張ユーザアラーム表示でアラームを表示します。
- 2. 拡張ユーザアラーム表示を操作します。

削除:選択された復旧済みアラームを削除します。

全削除:復旧済みアラームをすべて削除します。

★ ↓ 上下にページスクロールします。

▲ ▼ カーソルを上下に移動します。

- 3. 各画面に切り換えます。緑色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 4. EcoServerⅢの日時を表示します。
- 5. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・ユーザアラームが発生した場合、ブザーが鳴ります。また画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラーム確認ウィンドウが表示されます。

6.3.7 アラーム確認(W-30001)



概要

ユーザアラームによるブザーと画面の点滅をリセットします。

詳細

- 1. ユーザアラームによるブザーと画面の点滅をリセットし、1秒後にウィンドウ画面を閉じます。
- 2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

画面下のアラームメッセージは、ユーザアラームが復旧するまで消えません。

6.3.8 言語設定(W-30002)



概要

GOTで表示する言語を選択します。

詳細

- 1. 言語を切り換え、ウィンドウ画面を閉じます。
- 2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

・ 表示言語に合わせてシステム言語も切り替える設定にしています。

6.3.9 凡例表示(W-30003)



e-G0T-002-4

6.4 使用デバイス一覧

画面上のスイッチなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(共通編)」を参照してください。

(1) GOT の仮想デバイス

タイプ	デバイス番号	用途		
	D100 *1	EcoServerⅢの	コントロールデバイス	
	D101	デマンドデータ出力先/	ヘルシー	
	D102	デバイスデータ転送(ID:201)	現在時刻年	
	D103	の転送元デバイス	月	
	D104		日	
	D105		時	
	D106		分	
	D107		秒	
	D108, D109		積算電力量	
	D110, D111		現在デマンド	
ワード	D112, D113		予測デマンド	
) - 1	D114、D115		調整電力	
	D116、D117		許容電力	
	D118、D119		前回デマンド	
	D120		残り時間	
	D121		警報状態	
	D122		負荷制御状態	
	D123、D124		デマンド目標値	
	D125、D126		VCT比	
	D127		警報種別	
	D128		積算電力量:小数桁数	
	D129		現在デマンド:小数桁数	

*1: EcoServer IIIの「データ出力設定(デマンド監視)」にて登録した先頭デバイス番号になります。先頭デバイス番号を変更する場合は、作画ソフトウェアにてデバイスデータ転送(ID201)の転送元デバイスも同じデバイス番号に変更してください。

(2) GOT の内部デバイス

01 の内部デ タイプ	デバイス番号		用途		
	GB40	スクリプトトリガ(常時 ON)、部	品切り替えう	デバイス	
	GD60031. b8	スリーショットブザー			
	GD60101. b0	デバイスデータ転送(ID: 201) ヘルシー			
	GD60121. b0	の転送先デバイス	1段警報		
	GD60121. b1]	2 段警報		
ビット	GD60121. b2	1	限界/固定警報		
	GD60121. b3	1	システム異	常	
	GB65000	ブリンクトリガ			
	GB65010	スクリプトトリガ(No. 30009、No	o. 30010)		
	GB65011	スクリプトトリガ (No. 30012)			
	GS512. b0	時計変更信号、スクリプトトリ	ガ (No. 30013)		
	GD60000	ベース画面切り換え			
	GD60001	オーバーラップウィンドウ 1 画	面切り換え		
	GD60021	言語切り換え			
	GD60022	システム言語切り換え			
	GD60031、GD60041	システム情報	1		
	GD60100	デバイスデータ転送(ID: 201)	コントロー	ルデバイス	
	GD60101	の転送先デバイス	ヘルシー		
	GD60102		現在時刻	年	
	GD60103	-		月	
	GD60104	-		日 n+	
	GD60105	-		時 八	
	GD60106 GD60107	-		分 秒	
	GD60107 GD60108、GD60109	-	 積算電力量		
	GD60110、GD60111	-	_{傾昇電刀里} 現在デマン		
	GD60112、GD60111	-	現任 / マン		
	GD60114、GD60115	-	調整電力	1	
	GD60116、GD60117	-	許容電力		
	GD60118、GD60119	1	前回デマン	ř.	
ワード	GD60120	-	残り時間	•	
	GD60121	1	警報状態		
	GD60122		負荷制御状	能	
	GD60123、GD60124		デマンド目	標値	
	GD60125、GD60126	1	VCT 比		
	GD60127		警報種別		
	GD60128		積算電力量	:小数桁数	
	GD60129		現在デマン	ド:小数桁数	
	GD61100	残り時間(分)			
	GD61101	残り時間(秒)			
	GD61102	前回残り時間			
	GD61110	デマンド予測(パーセント表示)			
	GD61200	デマンドグラフ 理想直線原点			
	GD61202、GD61203	デマンドグラフ 予想デマンド			
	GD61204、GD61205	デマンドグラフ 理想直線			
	GD61210、GD61211	デマンドグラフ 上限値			
	GD61212、GD61213	デマンドグラフ 目盛り中間値			
	GD61220	デマンド時限(分)			
	GD61221	デマンド時限(秒)			

タイプ	デバイス番号	用途
	GD61230	棒グラフエリア判定
	GD61231、GD61232	棒グラフデータ 実数変換
	GD61240	棒グラフオフセットデバイス
	GD61250	棒グラフクリア処理デバイス
	GD61260	画面切り替え間接デバイス
ワード	GD61261	警報コメント切り替えデバイス
	GD61300~GD61359	デマンド時限 15 分 デマンドグラフ デマンド
	GD61300~GD61418	デマンド時限 30 分 デマンドグラフ デマンド
	GD61300~GD61538	デマンド時限 60 分 デマンドグラフ デマンド
	GS513~GS515	変更時刻
	TMP800~TMP822	オブジェクトスクリプト演算用

6.5 コメント一覧

コメント一覧 コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
253	No. 1~No. 4	B-30006 (拡張ユーザアラーム監視 ID 30001)
254	No. 1~No. 4	B-30006 (拡張ユーザアラーム監視 ID 30001)
	No. 2	B-30002~30006
	No. 3	B-30002~30006
	No. 4	B-30002~30006
	No. 5	B-30002~30006
	No. 22	B-30001
	No. 23	B-30001、B-30002
	No. 24	B-30001、B-30003~30005
	No. 25	B-30001、B-30006
	No. 29	B-30002~30005
	No. 30	B-30002~30005
	No. 31	B-30002~30005
	No. 32	B-30002
	No. 33	B-30002
	No. 34	B-30002
	No. 35	B-30002
	No. 36	B-30002
255	No. 37	B-30002
	No. 38	B-30006
	No. 39	B-30006
	No. 40	B-30006
	No. 41	B-30006
	No. 42	B-30003~30005
	No. 43	B-30003~30005
	No. 44	B-30002~30005
	No. 45	B-30002
	No. 46	B-30002
	No. 47	B-30003
	No. 48	B-30003、B-30004
	No. 49	B-30003
	No. 50	B-30004、B-30005
	No. 51	B-30004
	No. 52	B-30005
	No. 53	B-30005

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
	No. 102	W-30001
	No. 103	W-30001
	No. 104	W-30002
255	No. 105	W-30010
299	No. 106	W-30010
	No. 107	W-30010
	No. 108	W-30010
	No. 109	W-30010

6.6 拡張ユーザアラーム監視一覧

警報種別	コメントグループ No.	コメント No.	警報コメント	備考
限界警報	253	No. 1	1 段警報発生	EcoServerⅢの警報種別が
		No. 2	2 段警報発生	限界警報の場合、このコメ
		No. 3	限界警報発生	ントがアラーム履歴で表
		No. 4	システム異常発生	示されます
固定警報	254	No. 1	1 段警報発生	EcoServerⅢの警報種別が
		No. 2	2 段警報発生	固定警報の場合、このコメ
		No. 3	固定警報発生	ントがアラーム履歴で表
		No. 4	システム異常発生	示されます

6.7スクリプト一覧

項目	設定
スクリプトシンボル	有り
オブジェクトスクリプトシンボル	無し
プロジェクトスクリプト	有り
画面スクリプト	有り:B-30001、B-30002、B-30003、B-30004、B-30005、B-30006
オブジェクトスクリプト	有り:B-30002、B-30003、B-30004、B-30005

(1) スクリプトシンボル

シンボル名	定数	備考
DMTimeLimit	30	デマンド時限(分)を定義します。 EcoServerⅢのデマンド時限を 15 分または 60 分に設定する場合は、 この定数を 15 または 60 に変更してください

(2) プロジェクトスクリプト

スクリプト No.	30001	スクリプト名	Script30001
コメント	画面起動時の処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40

//GOT 画面起動時の処理を行う

```
//デマンド時限を設定
```

[w:GD61220] = DMTimeLimit; //デマンド時限(分)設定

[w:GD61221] = [w:GD61220] * 60; //デマンド時限(秒)設定

//設定したデマンド時限に合わせて、画面切り替えデバイスの間接デバイスに値をセット switch(DMTimeLimit)

case 15://15分

[w:GD61260] = 30003; //デマンドグラフ画面遷移時に B-30003 を開く

break;

```
case 30: //30 分
             [w:GD61260] = 30004;
                               //デマンドグラフ画面遷移時に B-30004 を開く
             break:
      case 60: //60 分
             [w:GD61260] = 30005;
                               //デマンドグラフ画面遷移時に B-30005 を開く
             break;
      default:
                   //上記以外
             [w:GD61260] = 0;
                               //デマンドグラフ画面遷移時にメインメニューを開く
//折れ線グラフ(理想直線)の原点を設定
[w:GD61200] = 0;
スクリプト No.
             30002
                                 スクリプト名
                                                Script30002
コメント
             時限切り替え処理
                                                常時
データ形式
             符号付き BIN16
                                 トリガ種別
//時限切り替え処理
//現在の残り時間が前回の残り時間より大きい場合、
//時限が切り替わったとみなし、棒グラフのデータを0クリアする
if([w:GD60120] > [w:GD61102])
      //棒グラフのデータをクリア
      [w:GD61250] = 0;
      fmov([w:GD61250], [w:GD61300], 240);
}
//前回の残り時間をセット
[w:GD61102] = [w:GD60120];
スクリプト No.
                                 スクリプト名
                                                Script30003
             30003
コメント
             1段警報発生/復旧処理
            符号付き BIN16
データ形式
                                 トリガ種別
                                                立上り/立下り GD60121.b0
//1 段警報発生時
if([b:GD60121,b0] == 0N)
      //画面のブリンク
      set([b:GB65000]);
//1 段警報復旧時
else
      //他の警報がなければ画面のブリンクをリセット
      if([b:GD60121.b1] != ON && [b:GD60121.b2] != ON && [b:GD60121.b3] != ON)
             rst([b:GB65000]);
スクリプト No.
             30004
                                 スクリプト名
                                                Script30004
コメント
             2 段警報発生/復旧処理
データ形式
                                                立上り/立下り GD60121.b1
             符号付き BIN16
                                 トリガ種別
//2 段警報発生時
if([b:GD60121.b1] == ON)
      //画面のブリンク
      set([b:GB65000]);
//2 段警報復旧時
else
```

```
//他の警報がなければ画面のブリンクをリセット
      if([b:GD60121.b0] != ON && [b:GD60121.b2] != ON && [b:GD60121.b3] != ON)
             rst([b:GB65000]);
スクリプト No.
             30005
                                 スクリプト名
                                                Script30005
コメント
             限界(固定)警報発生/復旧処理
データ形式
                                                立上り/立下り GD60121.b2
             符号付き BIN16
                                トリガ種別
//限界(固定)警報発生時
if([b:GD60121,b2] == ON)
      //画面のブリンク
      set([b:GB65000]);
//限界(固定)警報復旧時
else
      //他の警報がなければ画面のブリンクをリセット
      if([b:GD60121.b0] != ON && [b:GD60121.b1] != ON && [b:GD60121.b3] != ON)
             rst([b:GB65000]);
スクリプト No.
             30006
                                 スクリプト名
                                                Script30006
コメント
             システム異常発生/復旧処理
                                                立上り/立下り GD60121.b3
データ形式
             符号付き BIN16
                                 トリガ種別
//システム異常発生時
if([b:GD60121.b3] == ON)
      //画面のブリンク
      set([b:GB65000]);
//システム異常復旧時
else
{
      //他の警報がなければ画面のブリンクをリセット
      if([b:GD60121.b0] != ON && [b:GD60121.b1] != ON && [b:GD60121.b2] != ON)
             rst([b:GB65000]);
スクリプトNo.
             30007
                                 スクリプト名
                                                Script30007
コメント
             警報発生時ブザー
データ形式
             符号付き BIN16
                                 トリガ種別
                                                ON 中 GB65000
//警報発生時にスリーショットブザーを鳴らす
alt([b:GD60031,8]);
スクリプト No.
                                 スクリプト名
             30008
                                                Script30008
コメント
             通信開始時トリガ
データ形式
            符号付き BIN16
                                 トリガ種別
                                                常時
//EcoServerⅢのヘルシーをチェックし、GOT と EcoServerⅢの通信開始時に
//警報コメント設定(スクリプト No. 3009)、時計合わせ(初回)トリガ(スクリプト No. 30010)を実行するため
のトリガをセットする
if([b:GD60101,b0] == 0N)
      set([b:GB65010]);
```

```
スクリプト No.
              30009
                                 スクリプト名
                                                 Script30009
             警報コメント設定
コメント
データ形式
                                                 立上り GB65010
           符号付き BIN16
                                 トリガ種別
//警報コメント間接デバイスを設定
//警報種別によって警報発生時に表示するコメントグループを切り替える
switch([w:GD60127])
                   //限界警報
      case 1:
             [w:GD61261] = 253;
             break;
      case 2: //固定警報
             [w:GD61261] = 254;
             break:
      default:
             break;
スクリプト No.
             30010
                                スクリプト名
                                                Script30010
コメント
              時計合わせ(初回)トリガ
データ形式
              符号付き BIN16
                                トリガ種別
                                                立上り GB65010
//GOT と EcoServerⅢの通信開始時に、時計合わせ(スクリプト No. 30012)を実行するためのトリガをセット
する
set ([b:GB65011]);
スクリプト No.
             30011
                                 スクリプト名
                                                Script30011
コメント
              時計合わせ(周期)トリガ
データ形式 符号付き BIN16
                                 トリガ種別
                                                周期 3600 秒
//GOT 起動後、1 時間周期で時計合わせ (スクリプト No. 30012) を実行するためのトリガをセットする
set ([b:GB65011]);
スクリプトNo.
             30012
                                 スクリプト名
                                                Script30012
コメント
            時計合わせ
データ形式
                                                 立上り GB65011
             符号付き BIN16
                                 トリガ種別
//GOT の時計を EcoServerⅢの時計に合わせて変更する
//EcoServerⅢの時計データを GOT の時計データ用に BIN→BCD 変換
//年 BIN→BCD 変換
[w:TMP800] = [w:GD60102] % 100; //下 2 桁取得
[w:TMP801] = [w:TMP800] \% 10;
                         //1 の位取得
                         //10 の位取得
[w:TMP802] = [w:TMP800] / 10;
[w:TMP803] = [w:TMP801] << 8;
                         //1 の位桁合わせ
[w:TMP804] = [w:TMP802] << 12;
                         //10 の位桁合わせ
//月 BIN→BCD 変換
[w:TMP805] = [w:GD60103] \% 10;
                         //1 の位取得
[w:TMP806] = [w:GD60103] / 10;
                         //10 の位取得
[w:TMP807] = [w:TMP806] << 4;
                         //10 の位桁合わせ
//年月データ(BCD)を格納
[w:GS513] = [w:TMP803] + [w:TMP804] + [w:TMP805] + [w:TMP807] ;
//日変換
[w:TMP808] = [w:GD60104] % 10; //1 の位取得
                         //10 の位取得
[w:TMP809] = [w:GD60104] / 10;
[w:TMP810] = [w:TMP808] << 8;
                         //1 の位桁合わせ
[w:TMP811] = [w:TMP809] << 12;
                         //1 の位桁合わせ
//時 BIN→BCD 変換
```

```
[w:TMP812] = [w:GD60105] \% 10;
                           //1 の位取得
[w:TMP813] = [w:GD60105] / 10;
                           //10 の位取得
[w:TMP814] = [w:TMP813] << 4;
                           //10 の位桁合わせ
//日時データ(BCD)を格納
[w:GS514] = [w:TMP810] + [w:TMP811] + [w:TMP812] + [w:TMP814];
//分 BIN→BCD 変換
[w:TMP815] = [w:GD60106] \% 10;
                           //1 の位取得
[w:TMP816] = [w:GD60106] / 10;
                           //10 の位取得
[w:TMP817] = [w:TMP815] << 8;
                           //1 の位桁合わせ
[w:TMP818] = [w:TMP816] << 12;
                           //1 の位桁合わせ
//秒 BIN→BCD 変換
                           //1 の位取得
[w:TMP819] = [w:GD60107] \% 10;
[w:TMP820] = [w:GD60107] / 10;
                           //10 の位取得
[w:TMP821] = [w:TMP820] << 4;
                           //10 の位桁合わせ
//分秒データ(BCD)を格納
[w:GS515] = [w:TMP817] + [w:TMP818] + [w:TMP819] + [w:TMP821];
//GOT の時計を BIN→BCD 変換変換した EcoServerⅢの時計データに変更
set([b:GS512.b0]); //時計変更信号のセット
//時計合わせトリガをリセット
rst([b:GB65011]);
スクリプト No.
              30013
                                   スクリプト名 Script30013
コメント
              時計変更信号のリセット
データ形式
              符号付き BIN16
                                  トリガ種別
                                                  ON 中周期 1 秒 GS512.b0
//時計合わせ(スクリプト No. 30012)でセットした時計変更信号をリセットする
//時計変更信号をセットしてから 1 秒後にリセットする
rst([b:GS512.b0]);
```

(3) 画面スクリプト

ベース画面 共通

```
スクリプト No.
              30020
                                   スクリプト名
                                                    Script30020
               デマンドグラフデータ収集
コメント
データ形式
               符号なし BIN16
                                   トリガ種別
                                                     常時
//現在デマンド:小数桁数によって、現在デマンド(実数)を算出
switch([s16:GD60129])
                    //小数1桁
       case 1:
              [flt:GD61231] = [u32:GD60110] / 10;
              break;
       case 2:
                     //小数 2 桁
              [flt:GD61231] = [u32:GD60110] / 100;
              break;
       case 3:
                     //小数3桁
              [flt:GD61231] = [u32:GD60110] / 1000;
              break;
                     //小数 4 桁
       case 4:
              [flt:GD61231] = [u32:GD60110] / 10000;
              break;
       default:
              break;
}
```

```
//残り時間から現在デマンドを格納する棒グラフエリア(30 秒間隔)を算出
[w:GD61230] = ([w:GD61221] - [w:GD60120] - 1) / 30;
[w:GD61240] = [w:GD61230] * 2;
[flt:GD61300[w:GD61240]] = [flt:GD61231];
```

(4) オブジェクトスクリプト

ベース画面 30002

```
オブジェクト(名称) 数値表示(残り時間_分)
スクリプトユーザ ID 1
データ形式 符号なし BIN16
                             トリガ種別
                                            常時
//残り時間の分を表示する
V = [w:GD60120] / 60;
オブジェクト(名称) 数値表示(残り時間_秒)
スクリプトユーザ ID 1
             符号なし BIN16
                             トリガ種別
                                            常時
データ形式
//残り時間の秒を表示する
V = [w:GD60120] \% 60;
オブジェクト(名称) 数値表示(デマンド予測%表示)
スクリプトユーザ ID 1
データ形式
              符号なし BIN32
                             トリガ種別
                                            常時
//デマンド予測をパーセンテージで表示する
V = [w:GD60112] / [w:GD60123] * 100 ;
                            //予測デマンド÷目標デマンド
オブジェクト(名称) 数値表示(現在デマンド)
スクリプトユーザ ID 1
データ形式
         符号なし BIN32
                             トリガ種別
                                            常時
//現在デマンドの小数桁数を指定
my.decimal_point = [s16:GD60129];
//現在デマンド:小数桁数によって、表示する現在デマンドを算出
switch([s16:GD60129])
     case 1:
                //小数1桁
           V = [w:GD60110] / 10;
           break;
     case 2:
                 //小数 2 桁
           V = [w:GD60110] / 100;
           break;
     case 3:
                 //小数3桁
           V = [w:GD60110] / 1000;
           break;
     case 4:
                 //小数 4 桁
           V = [w:GD60110] / 10000;
           break;
      default:
           break;
```

ベース画面 30003

オブジェクト(名称)	数値表示(残り時間_分)			
スクリプトユーザ ID	1			
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時	
//残り時間の分を表示	する			
V = [w:GD60120] / 60;				

オブジェクト(名称) 数値表示(残り時間_秒) スクリプトユーザ ID 1 データ形式 符号なし BIN16 トリガ種別 常時 //残り時間の秒を表示する V = [w:GD60120] % 60オブジェクト(名称) 数値表示(デマンドグラフ_目標デマンド) スクリプトユーザ ID 1 データ形式 符号なし BIN32 トリガ種別 常時 //目標デマンドの120%を棒グラフ、折れ線グラフの上限値に設定する //目標デマンドを小数1桁に設定 [flt:TMP822] = [w:GD60123] / 10;[flt:GD61210] = [flt:TMP822] * 1.2;//グラフの上限値設定 オブジェクト(名称) 数値表示 (デマンドグラフ_目標デマンド中間値) スクリプトユーザ ID 1 データ形式 符号なし BIN32 トリガ種別 常時 //目標デマンドの中間値を表示する [s32:GD61212] = [s32:GD60123] / 2;オブジェクト(名称) 折れ線グラフ(予測デマンド、理想直線) スクリプトユーザ ID 1 符号なし BIN32 トリガ種別 常時 データ形式 //予測デマンドと理想直線の値を小数1桁にする [flt:GD61202] = [w:GD60112] / 10;[flt:GD61204] = [w:GD60123] / 10;オブジェクト(名称) 棒グラフ(デマンド) スクリプトユーザ ID 1 符号なし BIN16 データ形式 トリガ種別 常時 //画面のブリンク開始時と終了時(警報発生時と復旧時)に //棒グラフが消えるのを防止するため、棒グラフを常時更新する redraw_object();

ベース画面 30004

オブジェクト(名称)	数値表示(残り時間_分)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
//残り時間の分を表示	する		
V = [w:GD60120] / 6	50;		
オブジェクト(名称)	数値表示(残り時間_秒)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
//残り時間の秒を表示	する		
\$V = [w:GD60120] % 6	50;		
オブジェクト(名称)	数値表示(デマンドグラ	フ_目標デマンド)	
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN32	トリガ種別	常時
//目標デマンドの 1209	%を棒グラフ、折れ線グラ	フの上限値に設定する	
[flt:TMP822] = [w:G]	iD60123] / 10; /	//目標デマンドを小数 ゙	1 桁に設定
	::TMP822] * 1.2; /		
オブジェクト(名称)	数値表示(デマンドグラ	フ_目標デマンド中間値	直)
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN32	トリガ種別	常時
//目標デマンドの中間値を表示する			
[s32:GD61212] = [s32	2:GD60123] / 2;		

オブジェクト(名称)	折れ線グラフ(予測デマンド、理想直線)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN32	トリガ種別	常時
//予測デマンドと理想	直線の値を小数1桁にする	3	
[flt:GD61202] = [w:G	D60112] / 10;		
[flt:GD61204] = [w:G	D60123] / 10;		
オブジェクト(名称)	棒グラフ(デマンド)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
//画面のブリンク開始時と終了時(警報発生時と復旧時)に			
//棒グラフが消えるのを防止するため、棒グラフを常時更新する			
redraw_object();			

ベース画面 30005

へ一人画面 30005			
オブジェクト(名称)	数値表示(残り時間_分)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
//残り時間の分を表示	する		
V = [w:GD60120] / 6	50;		
オブジェクト(名称)	数値表示(残り時間_秒)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
//残り時間の秒を表示			
\$V = [w:GD60120] % 6			
オフシェクト(名称) スクリプトユーザ ID	数値表示(デマンドグラ	ノ_日牒ナマント)	
		しい大柱の	
データ形式 //日標デランドの 100/	i I	トリガ種別	常時
	%を棒グラフ、折れ線グラ *P001027 / 10:		1. 4~1~5小点
[TIT.IMP822] = [W.G	MD60123] / 10; / ∴TMP822] * 1.2; /	//日標ナイントを小剱	竹 〜設定
			+\
	数値表示(デマンドグラ	ノ_日標ナマント中间1	<u>■</u> <i>)</i>
スクリプトユーザ ID			과도 교수
1 11 11 1	符号なし BIN32	トリガ種別	常時
//目標デマンドの中間			
[s32:GD61212] = [s32	,		
	折れ線グラフ(予測デマン	ノト、理想世級)	
スクリプトユーザ ID		1 11 1214 011	ᅶᄯᇚᆠ
		トリガ種別	常時
//予測デマンドと理想直線の値を小数1桁にする [flt:GD61202] = [w:GD60112] / 10;			
[flt:GD61204] = [w:G オブジェクト(名称)			
スクリプトユーザ ID			
		LII书籍即	
	1	トリガ種別 第四時)に	常時
//画面のブリンク開始時と終了時(警報発生時と復旧時)に //棒グラフが消えるのを防止するため、棒グラフを常時更新する			
	で別止りるにめ、悴ソフ.	ノで吊吁史初りる	
redraw_object();			

7. GOT2000 シリーズへのプロジェクト変換手順

本サンプル画面のプロジェクトデータを、GOT2000 シリーズ用のプロジェクトデータに変換する手順について説明 します。

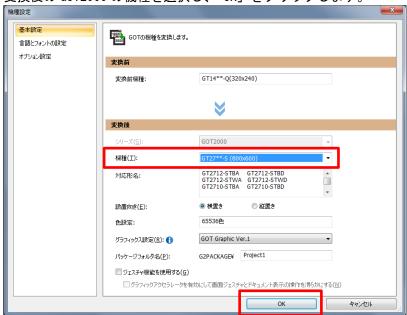
(本手順は GT Designer3 (GOT2000) (バージョン: 1.205P) を用いて GT2708-STBA (800×600) 用に変換する場合を例に説明します。)

- ※ご使用の GOT により、本手順にて変換したプロジェクトデータが正常に動作しない場合があります。
- ※GT21 モデルは非対応となっております。
- ※変換仕様の詳細は「GT Designer3 (GOT2000) 画面設計マニュアル」(資料番号: SH-081219) を参照ください。
- (1) GT Designer3 (GOT2000) から GOT1000 のプロジェクトファイル (e-GOT-002. GTW) を開くと、以下のウィンドウが表示されます。

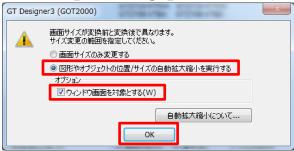
「GOT2000 データに変換し、GT Designer3 (GOT2000) で編集する」を選択し、「OK」をクリックします。



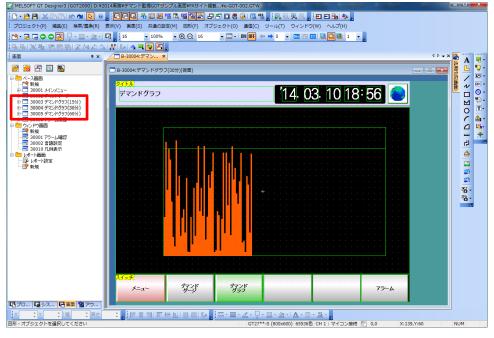
(2) 機種設定ダイアログが表示されます。 変換後の GOT2000 の機種を選択し、「OK」をクリックします。



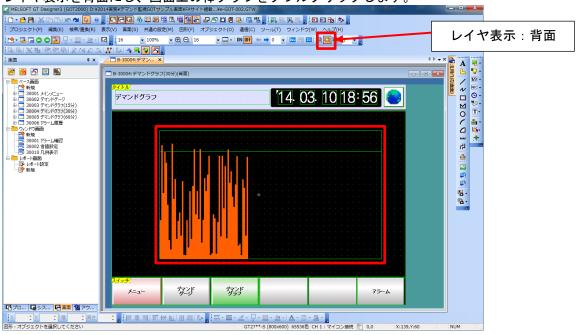
(3) 変換前と変換後で GOT の画面サイズが異なる場合、以下のダイアログが表示されます。 「図形やオブジェクトの位置/サイズの自動拡大縮小を実行する」を選択し、「ウィンドウ画面を対象とする」 にチェックをいれて「OK」をクリックします。



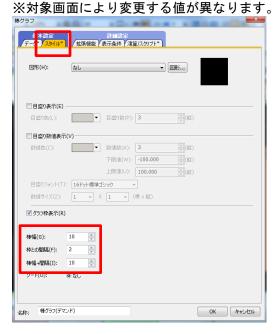
- (4) GOT2000 用に変換されたプロジェクトが開きます。 デマンドグラフ画面の棒グラフの設定を行います。 以降の操作を対象画面の棒グラフに対して行ってください。 <対象画面>
 - ・30003 デマンドグラフ(15分)画面
 - ・30004 デマンドグラフ(30分)画面
 - ・30005 デマンドグラフ(60分)画面
- (5) 画面ツリーのベース画面から対象画面を開きます。



(6) レイヤ表示を背面にし、画面上の棒グラフをダブルクリックします。



(7) 設定ダイアログの「スタイル」タブを開き、各設定値を変更します。



<30003 デマンドグラフ(15分)画面>

棒幅:20 枠との間隔:2 棒幅+間隔:20

<30004 デマンドグラフ(30分)画面>

棒幅:10 枠との間隔:2 棒幅+間隔:10

<30005 デマンドグラフ(60分)画面>

棒幅:5 枠との間隔:2 棒幅+間隔:5

※上記の設定値は GT2708-STBA (800×600) 用に変換する場合の参考値です。 変換後の画面に合わせて設定値を変更してください。